

ラービグ計画の竣工式を実施

住友化学とサウジアラビアン・オイル・カンパニー（サウジ・アラムコ社）が合弁で設立した「ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー（ペトロ・ラービグ社）」は、11月8日、サウジアラビアのラービグにおいて、石油精製・石油化学統合コンプレックス事業（ラービグ計画）の竣工式を挙行いたしました。竣工式には、サウジアラビアならびに日本の政府関係者をはじめ、金融機関やプラント建設会社など、ラービグ計画の関係者の方々が多数ご列席されました。

ラービグ計画は、サウジアラビア紅海沿岸のラービグにおいて、サウジ・アラムコ社が所有する既存製油所に、ハイオレフィン流動接触分解装置（HOFCC）を新たに建設することで石油精製の高度化を図るとともに、エタンガスを分解するエタンクラッカーや各種誘導品の製造設備からなる石油化学プラントを新設するという、世界最大級の石油精製・石油化学統合コンプレックス事業です。本年4月には、同コンプレックスの基幹設備の一つであるエタンクラッカーが本格稼動するなど、各種の設備がすでに稼動を開始しています。ペトロ・ラービグ社は、競争力のある原料をサウジ・アラムコ社から安定的に供給を受けるとともに、スケールメリットを最大限に発揮し、収益力の高い石油精製・石油化学事業を展開してまいります。同時に、ラービグ計画は、川下産業の進展などを伴って、サウジアラビアの産業の多様化や雇用の拡大に貢献し、同国経済の持続的な発展に資するとともに、日本とサウジアラビア両国のさらなる緊密化の一助となることが期待されています。

これにより、住友化学は、サウジアラビア、北米、シンガポール、日本の4カ所の石油化学拠点それぞれの強みと特徴を生かした生産・販売戦略を推進することで、石油化学事業の一段のグローバル化と収益力の強化を図っていく考えです。

以上

<参考>

ペトロ・ラービグ社の概要

会社名称	Rabigh Refining & Petrochemical Company (ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー)
所在地	サウジアラビア王国 ラービグ
設立	2005年9月
資本金	8,760百万サウジアラビア・リヤル（2008年12月31日現在）
持株比率	住友化学 37.5%、サウジ・アラムコ社 37.5% サウジアラビア一般投資家 25%
事業内容	石油製品・石油化学製品の製造・販売
従業員数	約2,000人（2008年12月31日現在）
社長兼CEO	Ziad S. Al-Labban（ジアド S. ラバン）